

# 藤波こども園

令和4年度 園長だより No.2

令和4年4月27日

文責 澤 悦弘



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園

## 新年度 元気よくスタート



4月8日に始業式、4月11日に入園式を行い、令和4年度の園生活が始まりました。子どもたちは緊張しながらも毎日の園生活を元気よく過ごし始めました。



乳児の部 入園式 (野上写真さん 撮影)



幼児の部 入園式 (野上写真さん 撮影)

子どもたちにとっては初めての緊張場面だったと思いますが、式が終わるまで保護者の方の隣でしっかりと話を聞いている様子でした。担任の呼名に対して大きな声で返事をしたり、手を挙げて応えている園児もいました。どんな思いで式に臨んでいたのでしょうか。これからの園生活を大いに楽しんで欲しいです。

### おうちの人に送ってもらって

朝、おうちの人に送ってもらって登園する子どもたちの様子は様々です。ニコニコしながら園のお部屋に入っていく子、お家の人に笑顔で手を振ってお互いに「行ってらっしゃい」と言って部屋に入る子、お家の人と抱き合ったりハイタッチをしてお別れする子、なかなかお家の人と離れられずに淋しそうな顔をする子、お家の人後ろ姿を見ながら泣き叫ぶ子など、様々な光景があります。そんな様子を見ていろいろなことを感じます。「園での生活を楽しみにしてきてくれたのだなー」、「家で楽しく過ごしているんだろうなー」、「お家の人と一緒にいる時が一番嬉しいのだろうなー」、「家で大事にされているんだなー」、「これからお仕事に行くお家の人のことも考えているのかなー」、そして「どの子も、お家の人大好きなんだなー」。

子どもと別れた保護者の方のほとんどが急ぎ足で車に向かわれます。お仕事が始まる時間にギリギリなのかもしれません。朝のご多用な時に送ってきていただき、ありがとうございます。

淋しがる子や泣き叫ぶ子をおいてお仕事に向かわれるのはつらいかもしれませんが、でも、安心してください。どの子も笑顔で楽しく過ごしています。



## お世話になりました 個別懇談・PTA代議員会

4月中旬に個別懇談、4月16日(土)にPTA代議員会を行いました。みなさんそれぞれご多用な中で時間の都合をつけていただき、ありがとうございました。

PTA代議員会では書面でのPTA総会や広報の発行、奉仕作業などについてお話し



いただきました。広報の原稿や奉仕作業では保護者のみなさんにお世話になりますが、よろしく願います。

## かわいいお客様 来園 職員みんなで大歓迎



ある日の夕方、ひとりの保育士が「あっ、〇〇ちゃんが来た!」その声に保育士全員が反応して玄関へ。

1ヶ月前に卒園して小学生になった子どもが保護者の方と一緒に来てくれたのです。小学校生活が始まった様子を嬉しそうに話す子どもと、その話を目を細めながら聞く保育士の様子を見て、藤波こども園で共に過ごした子どもと保育士との絆を感じました。

もうすぐゴールデンウィークです。緊急時など、園に連絡がつかない時は私(園長)の携帯におかけください。

藤波こども園 0740-32-0329

園長 澤 悦弘 090-4563-7404

## 啐啄同時(そったくどうじ) 《啐啄同機》《啐啄の機》

啐(そつ): 雛が卵の内側から殻をつつくこと  
(殻の中から鳴くこと)

啄(たく): 親鳥が卵の外側から殻をつつくこと

雛は自分のくちばしで卵の殻をつつき、自分で自分の殻を割っ



て生まれる。親鳥は子どものペースに合わせて、それを応援する意味で外から殻をつついてやる。親鳥と雛のタイミングが合うことによって、雛がスムーズに生まれる。

これは、禅において悟りを開こうとしている弟子に、師匠がすかさず教えを与えて悟りの境地に導くことを指す表現です。

私がこの言葉を聞いたのは、今から約40年前でした。教員採用試験を控えて、電車でその対策の本でも見ていたのだと思います。隣に座っていた年輩の方から「兄ちゃん、教員になろうとしているみたいだけど、こんな言葉、知ってるか。」から始まり、その意味を説明してくださいました。そして「いくら先生が教えたいと思っても、子どもにやる気がなければ身につかない。子どもが学びたいと思った時を見逃してはいけない。」と、およそ30分間、教員をめざしていた私にじっくりと教えてくださいました。

小・中学校での教員生活で、時折、その話を思い出していました。藤波こども園に赴任して1ヶ月が経とうとしていますが、私にとっての課題、努力目標は子どもたちの思いをくみ取ることです。子どもたちが今、どんな気持ちで過ごしているのかを想像しながら、関わっていきたく思います。子どもたちそれぞれの可能性を信じて。